

クラウド接続
接続先サービス設定情報の削除手順書
(AWS)

〈まえがき〉

1. 本書の位置づけ

本書は、beat クラウド接続サービスの利用中、または利用後に、Amazon Web Services（以下、AWS といいます。）上に残存した不要な設定情報の削除を行うお客様を対象としております。

beat-box と AWS の接続解除が正常に行われなかった場合、AWS 上に beat 関連の設定情報が残存し、AWS の利用料金が発生してしまう可能性があります。

本書では、不要な設定情報が残ってしまった場合の削除手順をご案内しています。

2. 前提条件

本書でご案内している手順は、AWS に AWS マネジメントコンソールを操作できるお客様ご自身のアカウントをお持ちであることを前提としております。

3. 注意制限事項

本書手順書内の AWS マネジメントコンソール画面は、2026 年 7 月 8 日時点のものを使用しております。以降に AWS の仕様が変更された場合、項目名やレイアウト等の表示が異なる可能性がありますのでご注意ください。また、AWS の公式ウェブサイトでも各設定手順がご覧になれます。

4. 商標について

Amazon Web Services、“Powered by AWS” ロゴ、[およびかかる資料で使用されるその他のAWS商標] は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

“Amazon Web Services, the “Powered by Amazon Web Services” logo, [and name any other AWS Marks used in such materials] are trademarks of Amazon.com, Inc. or its affiliates in the United States and/or other countries.”

＜ 目次 ＞

1. はじめに	1
1.1. はじめに	1
1.2. 接続設定解除のフロー	1
2. クラウド接続設定情報の削除手順	2
2.1. VPN 接続設定情報の削除手順	2
2.2. カスタマーゲートウェイ設定情報の削除手順	4
2.3. 仮想プライベートゲートウェイ設定情報の削除手順	5
3. AWS のアクセスキー削除手順	7

1. はじめに

1.1. はじめに

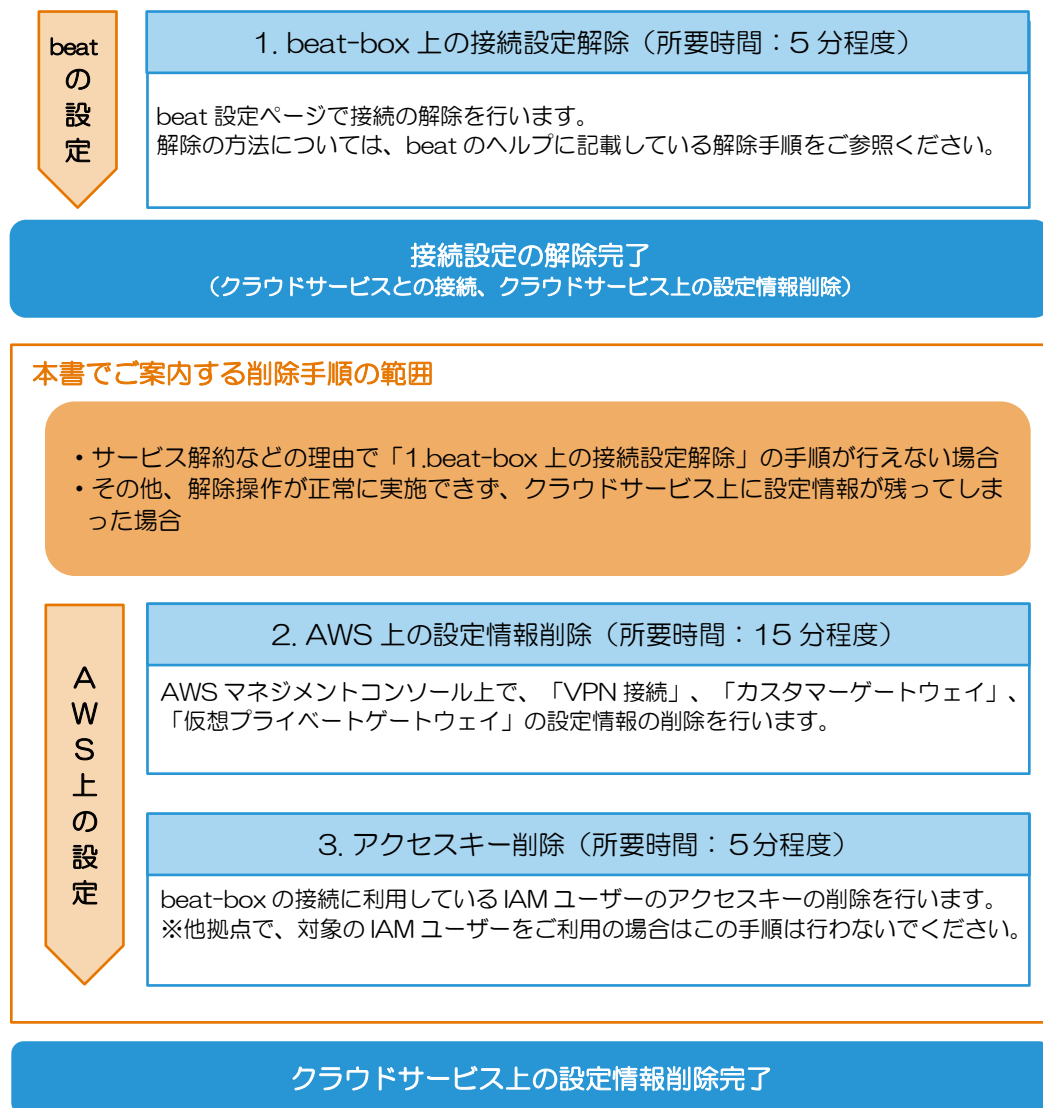
本書では、beat-box と AWS との接続解除を行なった際、意図せず AWS 上に残ってしまった設定情報の削除手順をご案内しております。

正常に beat-box と AWS の接続が解除された場合は、AWS 上にある beat 関連の設定情報は自動的に削除されるため、本手順を行う必要はありません。

AWS 上に設定情報が残ったままになっている場合、AWS サービスの利用料金が発生する場合があります。

1.2. 接続設定解除のフロー

beat-box と AWS の接続解除を行う際に、お客様に実施していただく作業フローは以下の通りです。なお、下の図にて示している所要時間は目安であり、お客様の環境により異なります。



2. クラウド接続設定情報の削除手順

2.1. VPN 接続設定情報の削除手順

1. AWS マネジメントコンソールにログインします。
以下の URL にアクセスし、お持ちのアカウントで AWS マネジメントコンソールにログインしてください。
<https://aws.amazon.com/jp/>
2. AWS マネジメントコンソールのトップ画面が表示されます。
画面上部の検索バーにて[VPC]と入力し、検索バーの下に表示される検索候補を選択してください。



3. 右上のリージョンにご利用のリージョンが表示されていることをご確認のうえ、画面左部のサイドバーから、[Site-to-Site VPN 接続]をクリックしてください。



4. VPN 接続の設定画面が表示されます。
削除する VPN 接続の左端にあるチェック欄をクリックしてください。

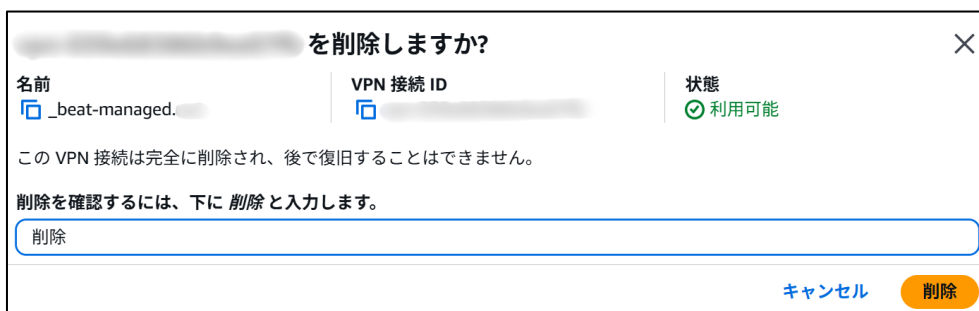
補足

beat-box が作成した VPN 接続は Name 欄で「_beat-managed」から始まるものです。
また、VPN 接続に紐づく VPC は、VPN 接続の詳細タブにある「VPC」でご確認ください。

5. チェック欄に青いマークが表示されます。
画面上部にある[アクション]から[VPN 接続を削除する]をクリックしてください。



6. ダイアログが表示されます。
対象の VPN 接続であることをご確認のうえ、
テキストボックスを入力して、[削除]をクリックしてください。



7. 画面中央の対象の VPN の状態欄が「削除済み」になったことをご確認ください。



以上で、VPN 接続設定情報の削除は完了です。

2.2. カスタマーゲートウェイ設定情報の削除手順

1. 画面左部のサイドバーから[カスタマーゲートウェイ]をクリックしてください。

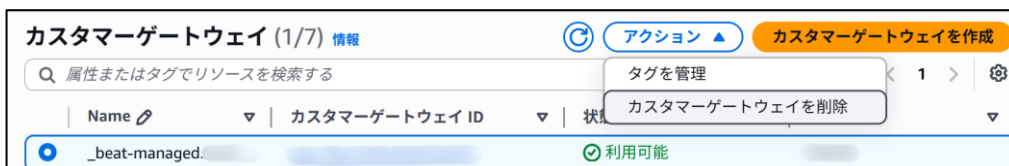


2. カスタマーゲートウェイの設定画面が表示されます。
削除するカスタマーゲートウェイの左端にあるチェック欄をクリックしてください。

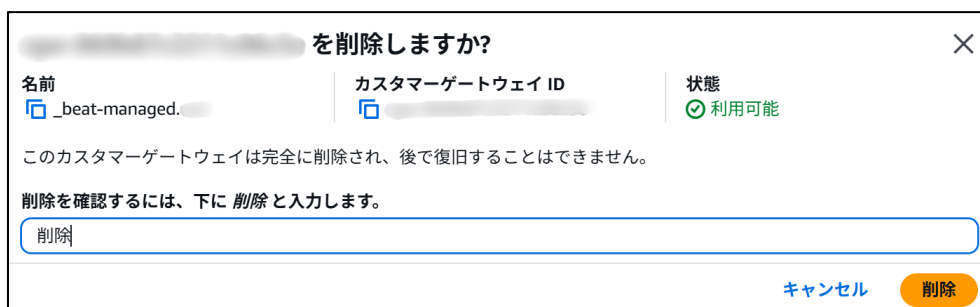
補足

対象となる beat-box が作成したカスタマーゲートウェイは Name 欄で「_beat-managed」から始まるものです。
また、カスタマーゲートウェイに紐づく VPC は、カスタマーゲートウェイの詳細タブにある「VPC」でご確認ください。

3. チェック欄に青いマークが表示されます。
画面上部の[アクション]から[カスタマーゲートウェイの削除]をクリックしてください。



4. ダイアログが表示されます。
対象のカスタマーゲートウェイであることをご確認のうえ、テキストボックスを入力して、[削除]をクリックしてください。



5. 画面中央部の状態欄が「削除済み」になったことをご確認ください。



以上で、カスタマーゲートウェイ設定情報の削除は完了です。

2.3. 仮想プライベートゲートウェイ設定情報の削除手順

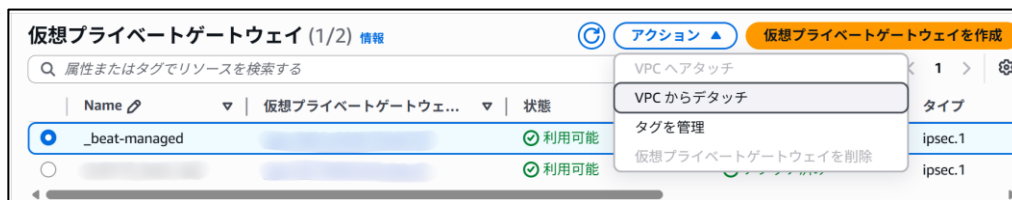
1. 画面左部のサイドバーから[仮想プライベートゲートウェイ]をクリックしてください。



2. 仮想プライベートゲートウェイの設定画面が表示されます。
削除する仮想プライベートゲートウェイが「アタッチ済み」になっていることをご確認ください。
※「デタッチ済み」になっていた場合は、次の手順3、4、5、6は行わず手順7から進めてください。

3. 対象の仮想プライベートゲートウェイの左端にあるチェック欄をクリックしてください。

4. チェック欄に青いマークが表示されます。
画面上部の[アクション] から[VPC からデタッチ]をクリックしてください。

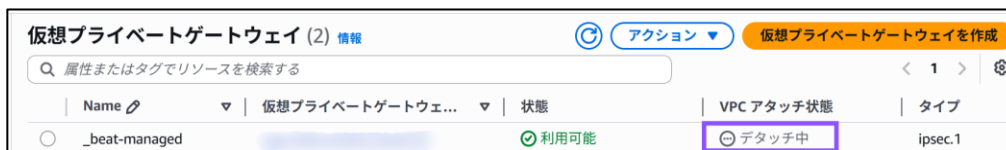


5. デタッチの画面が表示されます。
対象の仮想プライベートゲートウェイであることを確認のうえ、[仮想プライベートゲートウェイをデタッチ]をクリックしてください。

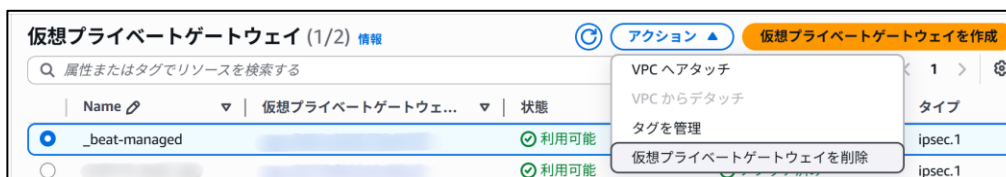
補足

対象となる beat-box が作成した仮想プライベートゲートウェイは Name 欄で「_beat-managed」と表示されているものです。
また、仮想プライベートゲートウェイに紐づく VPC は、仮想プライベートゲートウェイの詳細タブにある「VPC」でご確認ください。

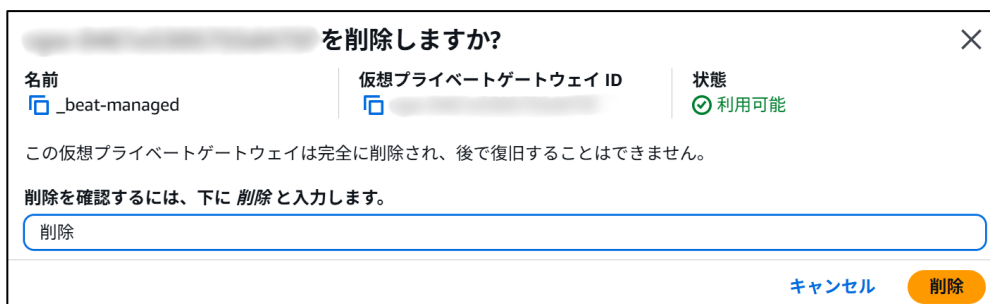
6. 仮想プライベートゲートウェイの設定画面が表示されます。
画面中央の状態欄から対象の仮想プライベートゲートウェイが「デタッチ中」から「デタッチ済み」になったことをご確認ください。
※デタッチ完了まで 2-3 分程度かかります。



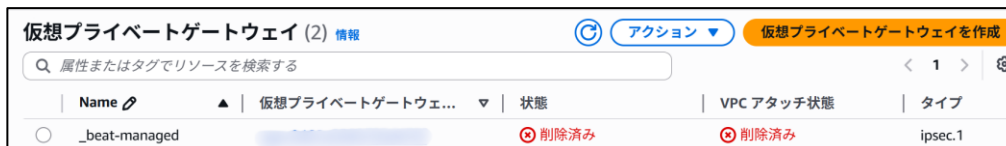
7. 画面上部の[アクション] から[仮想プライベートゲートウェイの削除]をクリックしてください。



8. ダイアログが表示されます。
対象の仮想プライベートゲートウェイであることを確認のうえ、
テキストボックスを入力して、[削除]をクリックしてください。



9. 画面中央の状態欄から対象の仮想プライベートゲートウェイが「削除済み」になったことをご確認ください。



以上で、仮想プライベートゲートウェイ設定情報の削除は完了です。

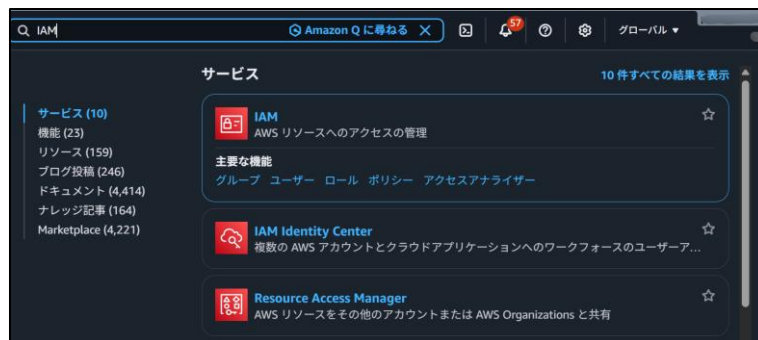
3.AWS のアクセスキー削除手順

AWS 上の IAM ユーザーのアクセスキー削除を行います。

注意

以下の手順では、IAM ユーザーのアクセスキーの削除手順をご案内しております。
他拠点の beat-box で対象の IAM ユーザーをご利用の場合は、以下の手順は
行わないでください。

1. 画面左上にある[サービス]のプルダウンをクリックし、検索バーにて[IAM]と入力してください。
検索バーの下に表示される検索候補を選択してください。



2. Identity and Access Management (IAM) の画面が表示されます。
画面左部のサイドバーから、[IAM ユーザー]をクリックしてください。
3. 使用可能な IAM ユーザーが表示されます。
IAM ユーザーの一覧から対象の IAM ユーザーをクリックしてください。
4. IAM ユーザーの概要が表示されます。
画面中央の[セキュリティ認証情報]タブをクリックしてください。
5. セキュリティ認証情報が表示されます。
アクセスキー内の対象アクセスキーの [アクション] から[削除]をクリックしてください。



6. ダイアログが表示されます。
対象のアクセスキーで間違えないことを確認のうえ、
テキストボックスを入力して、[削除]をクリックしてください。

アクセスキーを削除 ×

アクセスキー AKIAIOSFODNN7EXAMPLE を削除しますか? 非アクティブなキーを使用して AWS API 呼び出しを実行することはできませんが、後でキーを再アクティブ化できます。

最後に使用したアクセスキー
なし

IAM ユーザー
root

アカウント
123456789012

✓ アクセスキーが無効化されました。 ×

削除を確認するには、テキスト入力フィールドにアクセスキー ID を入力します。

キャンセル 削除

注意

アクセスキーは、削除前に無効化する必要があります。
ダイアログ内に表示される、[無効化]をクリックして、アクセスキーを無効化した
うえで、削除を進めてください。

7. アクセスキー欄から対象のアクセスキーが削除されたことを確認してください。

以上で、アクセスキーの設定情報の削除は完了です。

クラウド接続 接続先サービス設定情報の削除手順書（AWS）

著作者 — 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
発行者 — 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

発行年月 — 2019年 4月 初版
2020年 1月 第2版
2021年 7月 第3版
2026年 7月 第4版